

## —— 安心の提供と震災からの早期復興のために ——

いわき地域復興センターは、「いわき明星大学と東日本国際大学」が連携して、いわき地域に対する震災復興活動を行う拠点として設立されました。「福島県いわき地域の大学連携による震災復興プロジェクト」をテーマとして、両大学が持ついわき地域の魅力の再生に直結する専門性を提供することで、震災からの早期復興を目指します。

- 【事業の4つの柱】
- I 放射線・放射能測定及び軽減に関する研究事業
  - II 震災記録の保存事業
  - III 被災地の情報発信による観光まちづくり事業
  - IV 被災障がい者自立支援促進事業

## 第4回いわき地域復興センターフォーラム開催報告

～ 開催テーマ ～  
福島県浜通り地域の復興における大学の役割とは

10月31日（土）にいわき明星大学を会場として、第4回いわき地域復興センターフォーラムを開催いたしました。センターフォーラムは、当センター事業の4つの柱の活動に関連したテーマで、これまで3回開催してまいりました。今回はひとつの区切りとして、これまでのセンター事業成果を報告し活動を振り返るとともに、被災地に立地する大学として今後何ができるのか、何をすべきなのか、参加者とともにディスカッションを行いました。

### 【プログラム】

#### ■ フォーラム ～ 13:00 開会～

##### 1. 開会の辞

山崎 洋次  
(いわき明星大学 学長)

##### 2. 4事業成果報告

- ・放射線・放射能測定及び軽減に関する研究事業  
佐藤 健二 (いわき明星大学)
- ・震災記録の保存事業  
高木 竜輔 (いわき明星大学)
- ・被災地の情報発信による観光まちづくり事業  
浅井 義彦 (東日本国際大学)
- ・被災障がい者自立支援促進事業  
坂田 勝彦 (東日本国際大学)

- 休憩 (15分) -

##### 3. パネルディスカッション

コーディネーター  
東之弘  
(いわき明星大学  
復興事業センター長)

パネリスト

石丸 純一  
(いわき地域復興センター  
センター長)

福迫 昌之  
(いわき地域復興センター  
副センター長)

齊藤 和哉氏  
(いわき市行政経営部  
行政経営課 課長)

松本文氏  
(株式会社夜明け市場  
取締役 / 事務局長)

##### 4. 閉会の辞

福迫 昌之  
(東日本国際大学 副学長)

～ 15:55 閉会～

#### ■ 成果展示

12:00～16:30 (別会場にて)

#### ■ 成果報告

東日本大震災の発災後、各事業がどのようなコンセプトや目的をもって立ち上がったのか、また当センター事業がスタートしたH23年度から現在までに行ってきた活動内容やその成果等について、写真等を交えてご報告いただきました。時間の経過とともに震災からの復興の在り方が変わってきつつある今、これらの事業を今後どのような形で継続していくかについてもお話しいただきました。



< 佐藤 健二 >



< 高木 竜輔 >



< 浅井 義彦 >



< 坂田 勝彦 >

#### ■ パネルディスカッション

「福島県浜通り地域の復興における大学の役割とこれからの課題について」をテーマにパネルディスカッションを行いました。齊藤氏及び松本氏に震災後の活動についてお話しいただいた後、いわき市の現状を踏まえた当センターのこれまでの活動の振り返りを行い、会場からもセンターの活動内容についてご意見をいただきました。後半では、今後大学が行っていくべきことや大学に期待するなどについて意見を交わしました。



< 齊藤 和哉氏 >



< 松本文氏 >



< パネルディスカッションのようす >  
左から石丸、福迫、齊藤氏、松本氏

#### ■ 成果展示

各事業のこれまでの活動内容をまとめたパネルや各種資料、運用しているウェブサイト画面の表示などによる成果展示を行いました。被災障がい者自立支援促進事業においては、これまで取材してきた授産製品の一部について試食も行いました。参加者と直接声を交わすことができ、市民の方が感じている思いを知ることのできるよい機会となりました。



< 放射線・放射能測定及び軽減に関する研究事業 >



< 震災記録の保存事業 >



< 被災地の情報発信による観光まちづくり事業 >



< 被災障がい者自立支援促進事業 >

## ■ 「新しい東北 交流会 in いわき」 参加 ■

11月7日(土)にスパリゾートハワイアンズで行われました、復興庁が事務局となっている『「新しい東北」官民連携推進協議会』主催のイベント【新しい東北 交流会 in いわき】に参加しました。このイベントは、震災復興に向けた「産業・生業の再生と観光振興」をテーマに、東北地区を中心とした関係団体が活動事例のブース展示や発表を行うものです。復興の課題の共有や地域を超えたつながりを生み出すことを目的として開催され、50以上の団体が出展しました。当センターからは、これまでの活動内容をまとめた資料や震災記録の保存事業の一環として作成した写真集等を展示・配布しました。写真集は、いわき市の展示ブースでも配布していただきました。



<資料配布コーナー及び会場の様子>



<イベント案内チラシ>

## ■ 震災アーカイブ室見学者対応 ■

10月7日(水)、11月12日(木)、19日(木)の3回にわたり、いわき市常磐支所の施設めぐりがいわき明星大学にて行われました。施設めぐりは、市民の方々に市の公共施設や生活関連施設を見学していただき、市政に対する理解や協力を得ることを目的にいわき市の支所ごとに実施している企画です。今回、主催者側の希望により、震災アーカイブ室の活動紹介及び部屋の見学・収集資料の閲覧対応、震災資料パネル展示等を行いました。3回合計で約40名の方がお越しになり、みなさま震災アーカイブ室所有の震災写真集や各種書籍などを熱心にご覧になって、震災当時の思いなどを互いに語り合っていました。



<活動の説明の様子>



<震災アーカイブ室見学の様子>



<震災資料パネル見学の様子>

## ■ 第39回ミニ相談会 開催報告 ■

10月20日(火)、当センター事業のひとつである【被災障がい者自立支援促進事業】を担当している東日本国際大学 福祉環境学部 坂田准教授を講師にお招きし、第39回ミニ相談会を開催いたしました。今回は「障がい者就労支援施設の被災状況と自立支援について」をテーマに、市内のある障がい者就労支援施設の現状や、施設で作っている授産製品の特徴などをお話いただきました。学生が施設に取材に行き、レポートをまとめ、情報発信しているようすについてもお話いただきました。参加者からは、障がい者就労支援施設とのかかわり方などについて多くの意見が出されました。



<講師：坂田勝彦氏>  
(東日本国際大学 福祉環境学部)



<授産製品一例>  
(就労支援センター未来工房のジャム)

文部科学省  
平成23年度大学等における  
地域復興のためのセンター的機能整備事業

### いわき地域復興センター

〒970-8034 福島県いわき市平上荒川字長尾74-8  
Tel.0246-38-7132 Fax.0246-38-7134  
URL <http://www.revive-uwaki.net/>



### 次回ミニ相談会のご案内 (第40回)

日時：11月20日(金)9:30～12:00 場所：錦公民館 他  
テーマ：「なごその記録と記憶」

～いわき市勿来地区の被災状況と復興について知ろう～

内容：錦公民館にて開催中の東日本大震災アーカイブ写真展見学、  
勿来在住 赤津久元氏のお話、岩間・小浜地区見学

